



つくばみらい市 議会だより



# みらいのとびら

平成 29 年 2 月 1 日発行 第 43 号



市消防出初式(分列行進)

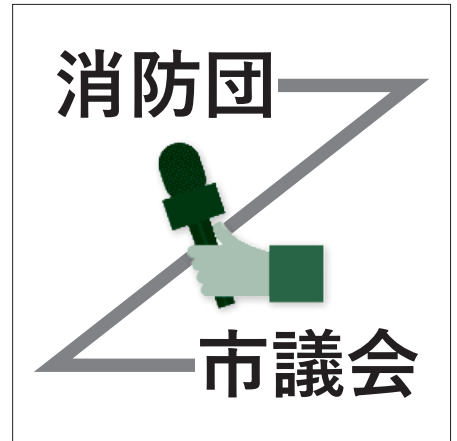
## Contents

特 集…………… P 2  
一 般 質 問…………… P 9

**特集**

市民の生命と財産を守る

# つくばみらい市消防団



今回は、地域の防災・防犯の中心として活躍されています「つくばみらい市消防団」の皆さんにお聞きました。

現在、消防団は本部及び11分団、女性消防団（本部付け）で組織され、215人の方々が活動されています。



## 災害も増えてきている現在、団員がいない地区を無くし、もっと多くの方に活動に参加してほしい

Q 消防団に入ったきっかけは。

**団長** 私の頃と、今の世代の方たちとは入団する動機も違うとは思いますが、基本的に「誰かが抜けたら誰かが入る」という順番で入るような意識付けがありました。当時は、人数も多かったのですが、誰かが抜けた時に自然と入団しました。

**団員** 35歳で入って遅い方なのですが、周りの先輩方が抜けて人員が足りなくなってきた中で、何度も親には入団

のお誘いは来ていたようです。その内に直接自分の方に声がかかって、年齢的にも遅いかなとは思いましたが、地域コミュニティを支えることも必要であると判断して入団しました。

**団員** 私は石下の昭和61年の時の災害をきっかけに入団しました。その時の小貝川の氾濫はすごく、ある程度の知識がないと大きな災害が起きた時には、何も出来ないのではないかと思い入団しました。

Q 消防団の年間活動について聞かせてください。

**団長** 主な活動は、1月には出初式があり、市のポンプ車操法大会は毎年行っていたのですが、隔年で行うようになりました。勿論、訓練は年間を通じて行っていますが、出来る限り分団に負担をかけるような体制になっています。後は、夜間に地域警備のような見回りも行っています。火災発生時には、通常の火災であれば消火活動の片付け等を行う機会もあります。また、消防団では地域住民の方々に、消火栓の使い方などの訓練なども要請があれば行っています。そういう活動も「地域防災意識」に繋がると思います。

Q 女性団員はどのような活動をされるのですか。

**女性団員** 基本的には、男性団員と一緒に活動はしておりません。男性団員の後方支援や救急時の医療訓練のような活動です。なので、男性団員と違って力が必要な作業はありません。

# 自分たちの住んでいる地域は、 自分たちで守るといふ意識もどんどん芽生えてほしい



— 鈴木喜代志団長（前列中央）と本部役員・分団長のみなさん —

**Q** 鬼怒川の災害の時に消防団の方々が表彰されたとお聞きしておりますが、その時の活動は。

**団長** 鬼怒川が氾濫し、その水を消防自動車で汲み上げるといふ作業でした。長時間になりますので、各分団で協力しながら交代で行っていました。大災害になると消防署だけでは対応が難しいですし、そうなると地域住民が手伝うというのにも馴染みません。消防団はそういう時にも必要とされています。

**Q** 今までに、消防団に入団して良かった事や得した事は。

**団員** 私は32歳で入団したのですが、当時は消防団の活動は全然知りませんでした。入団して一番衝撃だったのは、消防団の方々は真面目に地域防災を考えており、地元の事を色々知る良いきっかけになりました。入団前は近所付き合いと

うのも全くしていませんでした。しかし入団したお陰で入団しなければ知り合わなかった方や近所の方とも交流する機会になったのは良かったです。

**Q** 最後に、議会や議員に対して要望などはありますか。

**団員** 自分はサラリーマンですが、企業は消防団の活動に対してあまり協力的ではなく、日中とか残業の際に出勤要請がかかっても出られません。仕事と地元、どちらも大切です。市長や議員の皆様には、ぜひ、企業に対して地域防災の必要性を認識してもらえ取り組みをお願いします。

消防団の皆様、長時間のインタビューに時間を割いて頂き有難うございました。市民の皆さんが消防団の方々の活動に心の中で感謝していると思います。この記事を通して読んで頂いた方々に、地域防災の意識が芽生えることを期待いたします。

（取材者 今川英明、飯村裕一）

# つくばみらい市の こんなことが決まりました

第4回定例会 11月28日～12月9日

(12日間)

## 議案審議

### ●第4回定例会で審査した案件

市長提出案件	23件
議員提出案件	1件
請願	3件
計	27件



## Pick up 1

### 伊奈第3保育所の運営が 市社会福祉協議会に変わります

(議案第51号 つくばみらい市立保育所条例の一部を改正する条例)

伊奈第3保育所の運営について、平成29年4月1日から、社会福祉法人つくばみらい市社会福祉協議会に移行するため、条例の一部を改正するものです。

また、議案第53号 財産の無償貸付については、伊奈第3保育所を公私連携型保育所として運営するにあたり、社会福祉協議会が、安定的な保育事業を運営するため、当該保育所の土地、建物、附帯設備などについて、無償にて貸付するものです。

### こんな質問がありました。

**Q** 無償貸付をするに当たり、権利や許可の法的な整備に問題はないのか。

**A** 現在の登記は、土地が「畑」、建物が「未登記」となっているが、3年後の完全に民営化するまでには手続きをしたい。

## Pick up2

(議案第54号～議案第56号 公の施設の指定管理者の指定について)

### 公共施設の管理者が 決まりました

総合福祉施設きらくやまふれあいの丘については、社会福祉法人つくばみらい市社会福祉協議会を、小絹児童館については、特定非営利活動法人ワークスコープを、谷井田、小絹、板橋及びみらい平コミュニティセンターの4館については、一括してシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社をそれぞれ指定管理者として指定するものです。

### こんな質問がありました。

**Q** コミセンの管理運営を効果的、効率的に行うための具体的な質と量とは何か。

**A** みらい平コミセンにセンター機能を持たせ、効果的、効率的に管理して行く。質については、民間のノウハウを活用し、市民サービスの向上を図って行く。また、量については、月2回以上の各種事業を行っていく。

## Pick up3

(議案第58号 平成28年度つくばみらい市一般会計補正予算(第3号))

### 伊奈東中学校の 大規模改修工事などを予算化

今回の一般会計補正予算は、歳入歳出とも5億975万円を増額するもので、歳出の主なものは、中学校耐震・大規模改修事業5億2千514万4千円で、この事業内容は各中学校の非構造部材等落下防止対策及び伊奈東中学校の大規模改修工事を国の補助金の追加交付が決定されたため、前倒しして実施するものです。なお、補正の総額よりこの事業の額が大きいのは、人件費等が減額補正されているためです。



大規模改修工事を行う伊奈東中学校舎



## 平成28年（11・12月）第4回定例会 議決一覧表



議案番号	議案名	結果
報告第9号	専決処分の報告について（第3号）※地代増額請求事件訴訟の和解	報告
報告第10号	専決処分の報告について（第4号）※道路管理瑕疵による車両物損事故の和解	報告
同意第14号	農業委員会委員の任命について	同意
同意第15号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第47号	つくばみらい市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第48号	つくばみらい市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第49号	つくばみらい市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第50号	つくばみらい市税条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第51号	つくばみらい市立保育所条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第52号	つくばみらい市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第53号	財産の無償貸付について ※伊奈第3保育所の土地・建物・付帯設備など	原案可決
議案第54号	公の施設の指定管理者の指定について ※総合福祉施設きらくやまふれあいの丘の管理運営	原案可決
議案第55号	公の施設の指定管理者の指定について ※小絹児童館の管理運営	原案可決
議案第56号	公の施設の指定管理者の指定について ※コミュニティセンター4館の一括管理運営	原案可決
議案第57号	取手地方広域下水道組合規約の変更について	原案可決
議案第58号	平成28年度つくばみらい市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第59号	平成28年度つくばみらい市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決

議案番号	議案名	結果
議案第60号	平成28年度つくばみらい市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第61号	平成28年度つくばみらい市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第62号	平成28年度つくばみらい市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第63号	平成28年度つくばみらい市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第64号	平成28年度つくばみらい市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第65号	財産の取得について ※タブレット・ノートパソコンの購入	原案可決
発議第5号	まもなく40年を迎える東海第二原発の20年延長の申請をしないよう働きかけることを求める意見書	原案可決



番号	請願・陳情名	結果
請願第4号	「まもなく40年を迎える東海第2原発の20年延長の申請をしないよう働きかけることを求める意見書」提出の請願書	採択
請願第5号	「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願書	不採択
請願第6号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願	不採択
陳情第3号	陳情書（日本の全ての原子力発電所の活動を停止し、日本の全ての核燃料を東京都下のはるか南の鳥島に運び、鳥島の地下に埋蔵する事を求める意見書の採択）	全議員及び執行部に配布
陳情第4号	小絹、谷井田、板橋コミセンの民間委託を中止して頂きたい件	全議員及び執行部に配布

# 議案質疑

第4回定例会

議案第54・55・56号……

公の施設の指定管理者の指定について  
各施設の候補者の選定について

野口修議員

議案第58号……

平成28年度つくばみらい市一般会計補正予算(第3号)

伊奈東中学校大規模改修工事の内容について

野口修議員



# 討論

第4回定例会

議案第51号……

つくばみらい市立保育所条例の一部を改正する条例

【反対討論】

古川よし枝議員

議案第53号……

財産の無償貸付について

【反対討論】

古川よし枝議員



節分

議案第54号……

公の施設の指定管理者の指定について

【反対討論】

野口修議員

【賛成討論】

古川よし枝議員

議案第55号……

公の施設の指定管理者の指定について

【賛成討論】

伊藤正実議員

【反対討論】

海老原弘議員

野口修議員

柿沼朋幸議員

議案第56号……

公の施設の指定管理者の指定について

【反対討論】

野口修議員

柿沼朋幸議員

請願第5号……

「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願書

【賛成討論】

柿沼朋幸議員

請願第6号……

「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願書

【賛成討論】

柿沼朋幸議員

発議第5号……

まもなく40年を迎える東海第二原発の20年延長の申請をしないよう働きかけることを求める意見書

【反対討論】

豊島葵議員

【賛成討論】

古川よし枝議員





# 聴きたい 知りたい 市政

## 一般質問 (要旨)

### 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？  
質問は、議員本人が概ね200字を目安に要約しています。

質問議員11名  
26質問  
項目



### 読書通帳制度の導入について

#### ●伊藤議員

各地の公共図書館で「読書通帳」の導入が進んでいる。銀行ATMのような専用端末が図書館に置かれており、そこに読書通帳なるものを通すと、自分が読んだ本のタイトルや貸出日を記録できる仕組みになっているものである。子どもたちの読書離れに歯止めをかけ、多くの本を読んでもらうことを目的とした制度である。

読書の習慣を大人になってからも続ける「橋渡し役」として活用できる制度として、導入を提案するが、市の考えを伺う。

#### ●市長

読書は、子どもが言葉を選び、感性を磨き、表現力を高め、想像力豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠かせすことのできないものと考えて

いる。しかし、近年では、テレビ、

インターネット、携帯電話等のさまざまな情報メディアの普及や子どもの生活環境の変化、さらには幼児期から読書習慣の未形成などにより、子どもの読書離れが指摘されているところでもある。このような中で、議員の提案の読書通帳制度は、私も子どもの読書活動を推進する上で効果が期待できるものと考えており、新年度予算に付けて積極的に検討していきたい。

(掲載以外の質問事項)

☆みらい平地区に街灯(防犯灯、公園灯)について



伊藤 正実  
議員



## シルバー人材センターについて



海老原 弘  
議員

### ●海老原議員

谷井田、板橋、小絹コミセンはシルバー人材センターによって管理されてきたが、民間委託に移行することによるシルバー人材センターへの影響が心配である。谷井田、板橋、小絹のコミセンでは

特に指導のないまま、企画力や運営面で、みらい平コミセンと何が違ったのか。まじめに仕事をしてきたシルバー人材センターの方々からすれば気の毒である。シルバー人材センターの理事長である市長は、そのトップとして、仕事の確保をどのようにしていくのか。

### ●教育部長

今回のコミュニティセンターの指定管理者制度導入については、これまでの部屋貸しとしての利用のみではなく、季節ごとのイベント等を行うことで、地域住民の満

足度の向上を図るものであり、シルバー人材センターにできるものについては、積極的に活用するよう、指定管理者選定公募の仕様書の中に記載している。

### ●市長

市では、従来からのシルバー人材センターへの委託事業に加え、今年度新たに保健福祉センターの清掃業務をお願いし、公共分野の業務を増やしている。今後とも積極的に高齢者に適した仕事の提供に努めていきたい。

(掲載以外の質問事項)

### ☆交通事故対策について



## 地球温暖化対策、CO<sub>2</sub>の削減について



今川 英明  
議員

### ●今川議員

いま世界では、化石燃料を消費してCO<sub>2</sub>を排出し人間は生活している。そして、CO<sub>2</sub>が地球温暖化、異常気象に繋がっていると思う。

国際間でいろいろな努力をしているが、先の見えない状況である。温暖化対策としてカーボンマイナプロジェクトという取り組みがあり、亀岡市で行っている事業で、竹を炭化して炭の状態に炭に戻すことでCO<sub>2</sub>の削減になる。そして、その畑で野菜を作ること、一石二鳥の効果がある。本市でも取り組んではどうか。

### ●市民経済部長

本市として、この事業から参考となる部分としては、産官学を中心とした関係機関のネットワークが、自治体からの補助金等に過大な依存をせず、事業で生み出され

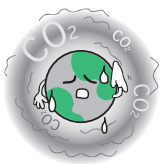
た資金や利益を支えに、継続可能な仕組みが作られている点である。議員の提案である、市民団体による本事業の実施については、地球温暖化対策として有効な事業であり、興味を持っている市民団体があるということは、非常に有り難い話であり、まず市民団体と話をさせていたきたいと思う。

今後は、亀岡市や他の先進事例等も参考にしながら、本市の地域特性となる、多くの農地や樹林地を活かした地球温暖化対策について、引き続き調査研究を行って参りたい。

(掲載以外の質問事項)

### ☆交通安全対策について

### ☆総合病院の誘致について



## スマートフォン用行政アプリについて



坂 洋  
議員

### ●坂議員

急速に普及が進むスマートフォンが、自治体の情報提供のあり方を変えつつある。

スマホによる行政からのお知らせ、例えば、不審者情報、災害情報、休日夜間診療、イベント情報、ごみカレンダー、防犯情報、火災情報、避難場所、お天気カメラ、交通情報などが考えられるが、このような行政アプリの活用は市民や行政にとって、どのような利点と課題があるか。さらに、その導入について市の考えを伺う。

利用者を増やすことができるかという点と、さらに便利な機能を備えたアプリが次々とリリースされる中、行政として一度導入したアプリを数年で別のアプリに変更することや、簡単に利用をやめることができないことも課題とされる。

市としては、市民への情報提供の充実はとても重要と考え、まずは広報紙アプリの導入を検討してまいりたい。その他の行政アプリについても、導入するメリットとデメリットについて、調査研究してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

### ☆被災者支援システムについて



利点としては、一般的に、「アプリ」とホームページなどの「ウェブサイト」を比較した場合、表示速度や操作性において、アプリの方が優れているケースが多い。課題としては、いかにアプリの

## 災害ごみについて



染谷 礼子  
議員

### ●染谷議員

近年、大規模な自然災害が頻発している。災害が起きたとき問題となるのが膨大な廃棄物であるが、これまでの災害で本市の災害ごみの量や種類と処理費用の状況を伺う。

災害廃棄物処理の混乱を最小限に抑えるために、事前にごみの仮置き場や処理方法を定めた災害廃棄物処理計画の策定を国は自治体に求めている。そして、計画のノウハウを支援する災害廃棄物処理支援ネットワークも発足している

ので大いに活用し、一日も早く災害ごみの仮置き場を計画すべきではないか。

が大半で、総処分量は約900トン、処理費用は約1千万円で、国庫補助金等があり市の負担額は約200万円である。

次に、平成27年9月10日の関東・東北豪雨の災害ごみの内容は、家具や畳が大半で、総処分量は約25トン、処理費用は約310万円、国庫補助金等があり市の負担額は約60万円である。

市としては、今後、県が策定する指針内容をよく確認し、関係部署とも協議して、災害廃棄物処理計画の策定について検討していきたい。

(掲載以外の質問事項)

### ☆ヘルプカードの普及促進について

●市民経済部長  
平成23年3月11日の東日本大震災の災害ごみの内容は、被害のあった家屋の屋根材や塀のがれ



## 医療用ウィッグについて



飯村 裕一 議員

### ●飯村議員

現在、様々な自治体で医療用ウィッグの入手を支援する動きが広がっており、購入費用の一部を助成したり、寄付された髪の毛でつくったウィッグをプレゼントしたりという内容もある。その中には、県と共同で行うものもあるようだが、本市ではどのような取り組みがなされているか。また、今後何か検討している取り組みがあるか。

また、市で貸し出している医療用具などと併せて貸し出せるようにすることを提案する。

### ●市長

現在、医療用ウィッグの購入費用の助成について、全国で先行している自治体は、山形県並びに山形県内全市町村、鳥取県、その他9市町村であり、助成金額は1〜

3万円である。

医療用ウィッグは、がん患者や家族の精神的・経済的な負担を軽減し、患者の就労や社会参加にも大きな役割を担うものと認識している。

私は、これまでも、そしてこれからもがん対策事業には、力を入れていきたいと考えており、医療用ウィッグ助成事業の実施については、今後も検討していきたい。

(掲載以外の質問事項)

☆喫煙対策とタバコ税について

☆知っていますか？県民手帳



## ふるさと納税について



鐘ヶ江 礼生奈 議員

### ●鐘ヶ江議員

ふるさと納税は、個人が応援したい自治体へ寄附できる制度だが、近年、返礼品の高額化・転売の問題や、収支が赤字の自治体もある。本市の現状はどうか。

地域振興や地元産業活性化のため、体験型や観光型返礼品を検討と、より具体的な事業に対し、ネット上で資金寄附を募るガバメントクラウドファンディング導入の見解を伺う。

また、市職員も市外在住職員や親戚、知人にPRし、税収アップに協力できると思うがどうか。

### ●総務部長

ふるさと納税の返礼品については、間宮林蔵ゆかりの地「稚内市」や「香取市」の特産品を追加し、平成27年度の収支では、本市への納税額は、約4千300万円、返

礼品や事務費などを差し引くと約2千120万円となり、本市民の他自治体への納税による税の控除

適用額は、約1千760万円で、収支は約360万円の赤字である。市外在住の市職員に対しては、

ふるさと納税による本市への寄附を呼びかけている。引き続き、協力をお願いしていく。また本人のみならず、家族や友人等にも積極的にPRを行っていただきたいと思っている。

### ●市長

体験型の返礼品やガバメントクラウドファンディングについては、今後検討してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

☆フィルムコミッション事業について

## 精神障がい者への医療福祉制度 (マル福)の市独自の拡充を求める



柿沼 朋幸 議員

### ●柿沼議員

障がいの違いで受けられる医療に違いがあることはおかしい。身体の方と知的の方は各々の障がい

手帳の区分により、手帳保持者の約半数が医療費全額公費助成。精神の方は手帳区分ではなく、障害年金1級該当となっているために制度適応者は1割未満。(※茨城県)障がい特性から長期通院、継続就

労が困難等で無年金者が多い。奈良県では、手帳1級、2級の方が実現。県への働きかけと市独自の精神障がい者へのマル福拡充を求め

### ●保健福祉部長

現在、マル福の対象区分を重度の障がい者としている中で、障がいの程度が中度である「精神障害者保健福祉手帳2級保持者」の方までを、マル福対象者とした場合、

身体障がい者の方や知的障がい者

の方で、障がいが中度の方も対象にしなければ均衡がとれなくなる

と考える。そのようなことから、精神障害者保健福祉手帳2級保持者までを、身体障害者手帳1級・2級保持者、あるいは、療育手帳「マルA」・「A」保持者と同様に、マル福対象者とするのは難しいと考える。

(掲載以外の質問事項)

☆絹の台街路歩道の段差解消補修について

☆防災情報の収集・伝達計画と市民への情報伝達の現状について



## 市職員の労働環境について



古川 よし枝 議員

### ●古川議員

労働基準法は勤務時間を原則1日8時間、週40時間と定めている。これを超える場合は労働団体との

「時間外労働時間」の締結が必要。労使協定する場合でも時間外勤務は月45時間が限度。  
①職員の時間外勤務の実態はどうか。  
②時間外労働時間の締結はどのようになっているのか。  
③月最大100時間を超える時間外勤務の部署があるが、職員配置の改善や人口増や各種制度改定・IT化による情報処理業務増、災害対応などを考慮した職員増が必要ではないか。

9・4時間となる。

また、平成28年度の上期の状況では、26年度、27年度と比較して、僅かではあるが減少傾向にある。

現在、職員組合はないが、労務省告示の時間外の延長の限度等に関する基準により上限が定められており、その基準に従って今後とも所属長に指導してまいりたい。職員の採用計画については、毎年、各課とのヒアリングを実施し、各課の適正数の把握に努めている。今後についても、業務量に見合った適正な人員配置を行ってまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

☆わかくさ・すみれ幼稚園、保育所の耐震化について

### ●総務部長

平成27年度の職員の時間外勤務の状況は、職員一人当たり年間112.4時間で、月平均では一人



## 公共施設の指定管理者について



野口 修  
議員

### ●野口議員

市の指定管理者の指定は、市民の大きな関心を呼んだ。それは、コミュニティセンターが新たに3館を指定管理者に移行することになったことに対して、その理由や選定基準はどうだったのか、誰が選定したのか、どうして前もって教えてくれなかったのかなどの疑問に対して市民や利用者に説明責任を果たしていないことが原因だと思う。

今後、市役所幹部の選定委員に第三者を加えたり、選定情報の公開、市民との情報の共有をどのように考えていくのか。

### ●市長公室長

指定管理者の選考については、現在、市では先行手続の透明性かつ公平性を確保するため、平成25年11月に定めた「つくばみらい市公の施設指定管理者制度運用ガイド

ライン」に基づき公募選考を行っている。

市としては、選定に至るまでの部分については、やはり公表すべきところは公表するという基本に立って、選定に至るまでの段階の公表については、その方法を含めた公表基準について検討していきたい。

### ●市長

「見える化」ということはすごく大事であると考えており、全てのものを「見える化」にしていきたいと思うが、企業側の非公表の情報もあると思うので、そのようなものも調整しながら、「見える化」を積極的に進めていきたい。

(掲載以外の質問事項)

☆つくばみらい市障がい者計画の策定について

☆29年度予算について

## 農地利用について



小田川 浩  
議員

### ●小田川議員

大和田地区の太陽光発電施設に関する農振除外申請が認められなかった件について伺う。

この案件は土地所有者、地元住民、土地改良区の同意を得た申請である。また、雨水対策として当該施設事業者が、隣接する狸穴地区の農業用排水路2・1kmの改修

工事を負担することで狸穴地区も事業に賛同している。農地を守ることは重要であるが、農家の生活、経済的な安定は保たれるのだろうか。維持管理や後継者問題などを考えた上での決断ではないのか。このような現状を踏まえ、市では今後の農業政策をどのように考えているのか。

### ●市長

市としては、近隣に先駆けて策定した「つくばみらい市人・農地

プラン」による地域の話し合いを通じて農業の現状を把握し、農地を有効利用する観点から、農地中間管理事業を活用した農地集積や、

多面的機能支払交付金事業により集落地域が行う農業資源の維持、保全活動への助成金交付を実施している。

また、青年就農給付金を活用した新規就農者への支援をはじめ、経営規模の拡大や6次産業の推進を含めた経営改善への支援など、担い手の育成、確保に努めている。今後、農業の振興のために、良好な営農条件を備えた農地の保全と維持、整備を適切に行い、農業の発展を図ってまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

☆市内の太陽光発電について



# 行政視察報告



## 【総務常任委員会】

研修期間 平成28年10月26日・27日  
研修場所 静岡県熱海市、袋井市、  
県地震防災センター

研修人員 6人

研修内容 防災・災害対策に関し、東  
海地震や南海トラフ巨大地震  
による大規模な災害が想  
定されている静岡県におい  
て、熱海市と袋井市及び静  
岡県地震防災センターで視  
察を行いました。



熱海市での研修風景

## 【教育民生常任委員会】

研修期間 平成28年10月18日・19日  
研修場所 北海道札幌市、小樽市

研修人員 7人

研修内容 義務教育施設適正配置に関  
し、札幌市では4つの小学  
校を統合した「資生館小学  
校」を視察し、小樽市では  
学校規模・学校配置適正化  
基本計画について研修を行  
いました。



札幌市での資生館小学校視察風景

## 【経済常任委員会】

研修期間 平成28年10月12日・13日  
研修場所 京都府亀岡市、長岡京市

研修人員 7人

研修内容 地球温暖化対策及び環境教  
育に関し、亀岡市では「亀  
岡カーボンマイナスプロ  
ジェクト」を視察し、長岡  
京市ではクラウドファン  
ディングによる環境絵本製  
作を研修しました。



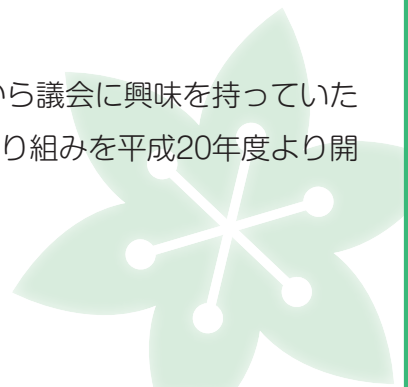
亀岡市でのカーボンマイナスプロジェクト視察風景

# 小中学生のみなさんが議会を見学!!

伊奈東中学校（直井校長）2年生、三島小学校（鈴木校長）6年生、板橋小学校（石塚校長）6年生、谷原小学校（藤田校長）6年生、豊小学校（中田校長）6年生のみなさんが、議会の一般質問を傍聴しました。

感想文をお寄せ頂きましたので、その一部をご紹介します。

なお、市議会では21世紀を担う子どもたちに小中学生の時代から議会に興味を持っていただき、市民にとってより一層身近で親しみやすい議会を目指す取り組みを平成20年度より開始し、市内小中学校単位での本会議傍聴を促進しています。



伊奈東中学校2年1組 **曾我尾 星那** さん

議会傍聴をして

私は三回ほど議会に行ったことがあります。1回は小学生のころ、二回目は中学生議会に参加した時です。中学生議会に参加した時は、自分が議員さん役になり、市長さんなどに質問をさせてもらいました。今回は本当の議員さんが質問しているのを聞かせてもらいました。聞いて感じたことは、市民のことをとても大切に考えて話しているということです。このことから議員さんはとても大切な仕事をしていることがわかりました。これからも市の発展のためにがんばって欲しいと思いました。

伊奈東中学校2年1組のみなさん





伊奈東中学校 2年2組 <sup>つつみ</sup> 堤 <sup>あいか</sup> 愛華 さん

## 議会見学により納得したこと

伊奈東中学校 2年2組のみなさん



今回の議会の内容を聞いて私は納得したお話がありました。それは交通整備についてのお話です。みらい平の人通りが多いところでは整備が行われていて安全だとは思いますが、人通りがあまりなく見通しが悪いところの整備がなっていないのでは？と私は思いました。人通りが少なくても小中学生の通学路であったりすることもあるので、人通りが少ない場所も安心して通れるような市になってほしいと思いました。また、議員さんの話にあったとおり、ながらスマホや、イヤホンをつけて自転車を運転する人がいると安全に運転していても事故がおきるようになってしまいますので、自転車に乗る人全員が事故への関心を高める事が大切だと見学により分かりました。

三島小学校 6年1組 <sup>さかもと</sup> 坂本 <sup>かなう</sup> 叶侑 さん

## 初めて見た市議会

三島小学校 6年1組のみなさん



ぼくは、初めて市議会をしているところを見て思ったことが、3つあります。一つ目は、市議会に出ている人たちの態度です。議員の人たちは、動かずしっかり話を聞いていて、すごく立派だなあと思いました。二つ目は、議長の姿勢です。背筋が伸びていて、しかも冷静に議員の人を指していてすごいと思いました。三つ目は、質問に対応していることです。議員の質問に答える市の人が、すぐに質問に応じるのがすごいと思いました。ぼくは、議員の皆さんのように自分の意見をしっかり言いたいと思いました。



板橋小学校6年1組 <sup>わたなべ あきな</sup> 渡辺 陽菜 さん

市議会を見学をして  
思ったことについて

市議会ではつくばみらい市のPRとふるさと納税の話をしていました。特につくばみらい市のPRでは、ホームページでロケ地の写真などを公開。ワークステーションを中心としたPR。そして、市民にもCM・映画のシーンに興味・愛着をもってもらいたいという思いが伝わってきました。また、ふるさと納税については、寄付金を活用し、安心な町づくり・地域のみりよく町づくりなどに使うこと。それから、体験型・観光型などをつくること、寄付者を招待し交流を深めようなどを検討していました。そのことについて私は、市民のために頑張っていると思いました。市議会を私は、市を支える大切な役割だと思いました。

板橋小学校6年1組のみなさん



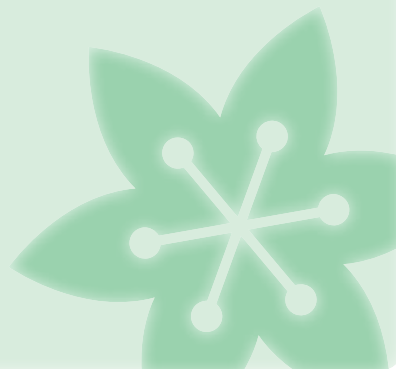
板橋小学校6年2組 <sup>ほし まあや</sup> 星 真絢 さん

初めて分かったこと

板橋小学校6年2組のみなさん



私は、今まで議会について、あまり知らなかったし、考えていませんでした。でも、実際に見学して、実は私達の生活と大きく関係があり、大切だということが分かりました。議会で話し合っていることはだいたいわかりませんが、質問と答えを聞いて、道や病院などの仕組みはよく考えて決めていることが分かりました。



谷原小学校6年1組 <sup>あおやぎ</sup> 青柳 <sup>ななみ</sup> 菜々実さん

私達にも、できること

今日、市議会を傍聴して、思ったことが二つあります。一つ目は、私達にも、「何かできることがあるのか」です。なぜかという、市議会を傍聴して、市長や部長、議員など、質問やその解答など述べていて、とても真剣な姿を見て、私達にも、何かできることがあれば、つくばみらい市民として、できることを積極的に取り組もうと思ったからです。二つ目は、「私もがんばろう」と思ったことです。みなさん、つくばみらい市のために、真剣に考えていて、私もがんばろうと思いました。私も、つくばみらい市民として、積極的に取り組み、がんばろうと思います。

谷原小学校6年1組のみなさん

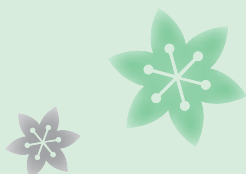


豊小学校6年1組 <sup>きぬがさ</sup> 衣笠 ひなさん

市議会を傍聴して思ったこと

市議会を傍聴して、市長さんや市議会議員の方々がつくばみらい市を快適で住みやすいまちにするために、将来の計画を立てたり、来年のことをかんがえたりして、とても大変なお仕事だということが分かりました。市議会議員さん一人の質問時間は1時間と決められていてその短い時間を使って質問をするのは大変だと思いました。今回市議会を傍聴していろいろなことを知ることができました。このような機会をいただけてよかったです。ありがとうございました。

豊小学校6年1組のみなさん



## 平成 29 年 第 1 回定例会

日	月	火	水	木	金	土
2/26	27	28	3/1	2	3	4
			本会議 (開会)	休会	本会議 (一般質問)	休会
5	6	7	8	9	10	11
休会	本会議 (一般質問)	総務常任 委員会	教育民生 常任 委員会	経済常任 委員会	休会	休会
12	13	14	15	16	17	18
休会	予算特別委員会			休会	休会	休会
19	20	21	22	23	24	25
休会	休会 (春分の日)	本会議 (閉会)				

※日程等については変更になる場合があります。なお、会期日程は、議会運営委員会（通常は開会日の7日前に開催）で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、事前に議会事務局までお問い合わせ下さい。

### ◆ 市議会を傍聴しませんか !! ◆

議会は、特別な場合を除き、だれでも傍聴することができます。

#### ◎傍聴の手続き

傍聴は、先着順で受付票に住所、氏名、年齢をご記入していただくだけで、傍聴席（定員50人）に入場できます。なお、常任委員会等の傍聴席は、定員5人となっています。

#### ◎傍聴場所

つくばみらい市議会は、谷和原庁舎3階です。

■ 第2回定例会 傍聴者数 219人（うち小学生184人）

### ◆ 議会TV放映中 ◆

議会開会中、伊奈庁舎及び谷和原庁舎のロビーに設置してあるテレビで、本会議の様子を生中継しています。どうぞ、ご視聴ください。

### ◆ 会議録の公開について ◆

会議の会議録は、市ホームページ、市立図書館、議会事務局でご覧いただけます。なお、最新の会議録の公開開始は、各定例会終了から概ね3か月後となります。

### ◆ インターネット録画中継配信中 ◆

つくばみらい市議会では、「市民に身近な、開かれた議会」を目指し、ホームページより録画中継の配信を行っています。それぞれの映像の掲載期間は1年となります。どうぞ、ご覧ください。

### ◆ 音声による議会だより ◆

ホームページより音声による議会だよりの配信を行っています。音声は、ボランティア団体『朗読グループかたくり』のご協力で作成しています。

また、社会福祉協議会を窓口目目の不自由な方々を対象に、無料でCDの貸し出しをしています。ぜひ、お聴きください。

### ◆ ご意見感想をお寄せください ◆

「議会だより」についてのご意見・ご感想をお寄せください。今後の本誌編集の参考にさせていただきます。また、議会についてのご意見等ありましたら併せてお聞かせください。



左から 鈴木県議会議員、澤田県土木部長、高木議長、染谷副議長、鐘ヶ江経済常任委員長

県知事、県土木部長、  
県道路建設課長、県土木事務所長

#### 「要望書提出先」

願いました。

平成28年第3回定例会で議員提案により全会一致で可決しました「主要地方道野田牛久線改良整備の促進に関する要望書」について、10月17日に鈴木県議会議員の同席のもと、高木議長、染谷副議長、鐘ヶ江経済常任委員長により、澤田県土木部長に面会し、予算確保と着実なる事業の推進をお願いしました。

野田牛久線(県道)の整備を  
茨城県に要望